

- ・食糧不足から、学校の上学年は「くわ」を持ち、援農奉仕作業として、働いた。



- ・昭和10年代の中頃から食糧が深くとなり、職員は実習田や畑を耕作したり、援農作業として麦刈りや稲刈りをした。



- ・農家では手不足となり小学校の児童も援農奉仕作業として、稲刈りを手伝った。

